

原田さとみ（タレント／ペネロープ・エシカル・ペティヨン主宰／
JICA 中部なごや地球ひろばサポーター）

タップ・ウォーター・プロジェクト「コップなごや”水！ 寄金」とは、

私達がいつもなにげなく飲んでる“お水”。いったいどこから流れてきているのでしょうか？ 知っている方はどれくらい？ 気にしたことのある方は？

「うみやあ」と評判の“ナゴヤのお水”は、名古屋市から遠く離れた木曽川が源流です。源流の森林が豊か健全でなければ、安全でおいしいお水を口にすることはできません。私達は蛇口をひねれば透明できれいなお水が出てきます。もうそのままでごちそうです。源流域や水の循環を守る多くの人々の知恵とたゆまぬ努力の賜物です。そんなお世話になっている上流域への理解を深め、山間部と都市部との交流を盛んにし、現在かかえている課題と一緒に解決して行けたらと思います。私達ナゴヤっ子は、あたりまえのようにいただくことのできるナゴヤのお水。その水が私たちの命を守ってくれていることに今一度、感謝して、私達だけでなく世界中すべての人が美味しいお水を飲むことができ、笑顔が増えますように・・・と願いを込めて、私は「コップなごや“水” 寄金」を始めようと思います。

「コップなごや“水” 寄金」とは、レストラン・喫茶店などの飲食店で、無料サービスで提供されている「コップのお水」、サービスで出されているこのお水に対して、お客様に寄付をしていただくことを推進するプロジェクトです。飲食店の各テーブルの上に、「コップなごや“水” 寄金」のメッセージの書かれたプラカードを置きます。メッセージをお客様に読んで共感していただき、テーブル上のプラカードの上に、お気持ちで寄付金を置いていただきます。その寄付金は飲食店各店で責任を持って回収していただき、私達で1つに取りまとめ、木曽川の源流域へ寄付をいたします。

過疎化・農林業の担い手不足・水源林の荒廃などの課題に取り組めます。それは下流域での無関心・関係性の希薄なども問題でもあり、上下流域交流による相互理解を深めて、連携・協同し、水源の保全を流域全体の問題としてゆきます。

ナゴヤ市民みんなが、美味しいお料理や楽しい食事のひとつときに幸せを感じ・・・そこに添えられているお水に思いを馳せ・・・感謝のお気持ちで寄付を置いてくださることが理想です。メッセージを読んでいただき、私達にとって大切なお水への関心が高まり、源流のことを考え、お水がどこからどのように来て、それがいかに尊く有難いことなのか、気付きとなることも大事なことで考えます。

豊かで贅沢な日本では、このお水がいただけることは当然のサービスとなっています。そんなあたりまえのように頂いていたお水ですが、世界中にはコップ1杯の飲み水を得ることができずに命を落としている地域がたくさんあります。生死を分けるほど貴重なお水であるということ、もう1度気付き、考えてほしいと思います。

そして、今一度、安全でおいしいナゴヤのお水は、豊かで良質な木曽川の恵みあつてのものということに関心を持っていただき、しかしそんな上流域は、過疎化や水源林の荒廃で、困っていることも知っていただく機会となることをこのプロジェクトでは希望しています。